

令和2年度 社会福祉法人龍ヶ崎市社会福祉協議会 事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

【1】 会議等

< みなし決議 >

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、理事会、評議員会を休会とした。
各提案事項については、社会福祉法の規定に基づく書面による決議を行い、承認を得た。

会議の名称／提案書発送日		案 件
理事会 (休会)	令和2年5月28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告並びに決算について ・令和2年度資金収支補正予算について ・常務理事の選定について ・評議員会の決議の省略について
	令和3年1月20日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度資金収支補正予算について ・評議員会の決議の省略について ・社会福祉大会における被顕彰候補者について
評議員会 (休会)	令和2年6月15日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告並びに決算について ・令和2年度資金収支補正予算について
	令和3年2月1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度資金収支補正予算について

< 開催した会議等 >

新型コロナウイルス感染症の予防に配慮し、開催した。

会議の名称／開催日		案 件
理事会	令和3年3月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・規程の一部改正について ・令和3年度事業計画並びに予算について ・令和2年度資金収支補正予算について ・評議員会の招集について ・役員等賠償保険の契約について
評議員会	令和3年3月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・規程の一部改正について ・令和3年度事業計画並びに予算について ・令和2年度資金収支補正予算について
監 査	令和2年5月18日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度決算並びに法人運営状況について

【2】 事業

企画広報事業 【自主事業】

1. 広報啓発事業

(1) パンフレット発行

当会の運営状況や各事業について広報活動を行うことで、当会の活動に対する理解と会費への協力、ボランティア活動に対する参加促進を図った。

<実績・効果等>

新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、会員増強期間（7月）に向けた協力依頼を見合わせた。

当会の活動や事業について市民の理解と協力を求めるためのパンフレットを各地区の回覧用として作成し、住民自治組織代表者に配布した（8月）。

(2) ホームページ運営事業

「しゃきょうだより」と連動しホームページを公開することで、当会に関する情報や地域福祉活動の状況について随時閲覧できる体制を整備している。

アドレス <http://www.ryu-shakyo.jp/>

2. 社会福祉大会事業（ボランティア連絡協議会との協働事業）

令和3年3月6日（土）に大昭ホール龍ヶ崎（龍ヶ崎市文化会館）において、社会福祉の発展に功績のあった方々の顕彰や市内小中学校児童生徒による標語作品の展示等を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

<実績・効果等>

顕彰	社会福祉功労者表彰	43件
	善行青少年表彰	2件
	社会福祉協力感謝	3件
	標語入選者表彰	14件

※龍ヶ崎市役所ロビーや各コミュニティセンターに標語入選作品を展示した。

ボランティアセンター事業

1. ボランティアセンター事業 【市補助事業】

(1) ボランティアセンター運営

ボランティア活動を行う個人やボランティア団体等を支援するため、研修会・会議・作業等自由に利用できるコーナーを整備した。

また、地域活動の振興を図るため、ボランティアに関する情報を収集し、地域における活動者やこれから活動を始めようとする方の相談に応じた。

＜実績・効果等＞

延利用者数 6, 137人（行政関係の会議等を除く）
相談・紹介件数 10件

（2）福祉出前講座

学校で行う福祉学習について、学習プラン等について相談に応じながら、講師紹介や福祉機器の貸出を行った。

＜実績・効果等＞

支援活動件数 7件
延派遣人数 32人
支援内容 車椅子体験、障がい者疑似体験、手話体験、点字体験

（3）みんなのボランティア講座事業

ボランティア活動の第一歩として、ボランティアの基本的な知識と技術等を習得することを目的とした講座を開講した。

＜実績・効果等＞

音訳講座	実施回数	9回（令和2年9月29日～令和3年2月9日まで）
	受講者数	4人
点訳講座	実施回数	8回（令和2年9月7日～令和2年12月7日まで）
	受講者数	6人

2. ボランティア振興事業 【自主事業】

（1）ボランティア連絡協議会活動支援

多くの市民による、市内のさまざまな団体で構成される龍ヶ崎市ボランティア連絡協議会を助成し、協働事業を開催することで、当市のまちづくりにおけるボランティア活動の振興及び市民への啓発を図った。

＜実績・効果等＞

登録団体数 37団体
事業 ・ふれ愛交流事業（ふれ愛クリスマス）
・情報紙発行（年4回） ・小中学校等福祉学習への講師派遣

（2）イベント用品貸出事業

地域における福祉活動や交流等を目的とした自主的活動を支援することで地域におけるボランティア・福祉活動の振興と市民交流の促進を図った。

また、それらの事業に際し各種イベント用品の貸出等により、相互理解に基づくコミュニティづくりを支援するとともに、会費収納率向上の一助となるようPR活動の充実を図った。

＜実績・効果等＞

イベント用品（テント、大型鍋類、調理器具、せいろ、臼、杵、イベント用品等）
貸出件数 33件（うち、トラック貸出 1件）
貸出先 住民自治組織、コミュニティセンター ほか

(3) ボランティア保険

ボランティア登録者が安心して活動できるよう、ボランティア保険に加入した。また、各地域で自主的に実施されるボランティア行事に係る保険（全国社会福祉協議会の取扱）の進達を行った。

<実績・効果等>

ボランティア活動保険	39件（団体35件・個人4件）
行事保険	8件
送迎サービス補償	1件
福祉サービス補償	8件

3. 青少年ボランティア育成事業 【自主事業】

(1) ジュニアボランティア育成

小学校3年生から中学生を対象に、主に参加・体験型事業を実施し、地域における将来のボランティアリーダーの育成を図った。

<実績・効果等>

実施期間	3日間（11月～12月）
参加者数	37人
事業内容	ふれ愛クリスマス会、盲導犬体験等
効果	障がい者との交流、盲導犬の体験等を通して、他者を思いやる心を養うことにつながった。

(2) 高校生ボランティアスクール

市内に在住・在学する高校生を対象に、ボランティア体験を通してボランティア活動への関心、福祉に対する理解を深め、地域におけるボランティアリーダーを育むことを目的に、ボランティアや関係機関との協働によるボランティアスクールを開催した。

<実績・効果等>

実施期間	3日間（11月～12月）
参加者数	56人
事業内容	ふれ愛クリスマス会、車イスユーザーによる講話等
効果	障がい者との交流を通して、ボランティア・福祉に対する理解を深めることができた。

ふれあいのまちづくり事業

1. ふれあいネットワーク事業 【自主事業】

地域ごとに担当者を配置し、地域の方々とのコミュニケーション等を通し、福祉やボランティア等社会資源に関する情報を収集するとともに、地域の方々による主体的活動を支援し、地域のネットワークづくりを推進した。また、当社会福祉協議会に関するPRを行い、活動に対する認知度の向上に努めた。

<実績・効果等>

訪問回数	124回
訪問先	コミュニティ推進協議会福祉部会、自治会・町内会等の役員、ボランティア関係者、長寿会
内容	福祉部会の会合・事業、サロン活動、防犯・防災活動
ホームページへの紹介	14件
しゃきょうだよりへの紹介	13件

2. ふれあい相談サロン事業 【市補助事業】

市民のさまざまな相談に総合的に対応することを目的とし、関係機関との連携やニーズに即したサービスの提供により市民が気軽に利用できる相談窓口として相談所を運営した。

(1) 心配ごと相談

<実績・効果等>

開催日数	24日（第1・3火曜日） 13時30分から16時30分まで（最終受付16時）
相談員	心配ごと相談員
相談件数	35件
相談内容	生計、家族、住宅、健康に関するもの

(2) 法律相談（要予約）

<実績・効果等>

開催回数	24回（第2・4金曜日）
相談員	弁護士
相談件数	67件
相談内容	金銭に関するトラブル、相続、離婚に関するもの

3. ふれ愛給食サービス事業 【市補助事業】

市民交流の促進による引きこもり防止と安否確認等を目的として、ボランティア（調理ボランティア、宅配ボランティア）の協力により市内在住の75歳以上のひとり暮らしの高齢者に対し昼食の宅配を実施した（4月中旬まで）。

新型コロナウイルス感染拡大により、4月下旬は電話による安否確認を行い、5月からは職員の見学により市内業者の軽食を宅配し、安否の確認と孤独・不安感の緩和に努めた。

<実績・効果等>

開催日	南班 毎月第1・3木曜日 / 北班 毎月第2・4木曜日
利用登録者数	157人（3月末日現在）
協力ボランティア	調理 18人（1団体） 宅配 48人
ボランティアによる延宅配件数	173件（4月中旬まで）
電話での安否確認	175件（4月下旬）
職員による延訪問件数	1,719件（5月から）

4. 交流サロンりゅうの運営（中央支所内） 【市補助事業】

地域に暮らす高齢者、障がい者、育児中の親子等が安心して暮らし、健康で生きがいのある生活を営むことができるような交流サロンを運営した。

また、多くの方々に安心・安全に利用していただけるよう感染症予防対策を講じながら、事業の企画・実施や効果的なPRを行い、利用促進を図った。

<実績・効果等>

中央支所	開設日数	284日	
	延利用者数	238人	
		(会費受付 18件 / ボランティア相談・受付 0件 / ふれあい相談サロン受付 1件 / 車椅子貸出 5件 / 敬老会記念品引換 206件 / きずなBOX 3件 / その他 5件)	
交流サロンりゅう	開設日数	284日	※講座休講期間 4/1～6/14 ・ 1/19～2/7 休講期間中もバス待ち・お茶 飲みの利用には対応した
	延利用者数	2,583人	
	延利用団体	9団体	
		・いきいきヘルス体操（毎週月・木曜日） ・輪投げサロン（毎週月曜日） ・健康マーじゃん（毎週火曜日） ・折り紙（毎週水曜日） ・太極拳（毎週木曜日） ・卓球サロン（毎週土曜日） ・いきいき健康倶楽部（隔週火・水曜日） ・思い出を語ろうかい（隔週火・水曜日） ・スポーツ吹き矢講習会（隔週土曜日）	
	※休講	・童謡（隔週土曜日）	
	※新型コロナウイルス感染拡大により中止	・カレーの日（毎月第2・4金曜日） ・そばの日（毎月第1・3金曜日）	

【ささえ愛マスクポスト】

市内公共機関（7か所）にマスクポストを設置し、市民の方々からマスクの寄付を募り、必要とする方々へ配布した。

実施期間	令和2年5月～令和3年3月
マスク受付数	約6,400枚
マスク配布数	約1,500枚
設置場所	龍ヶ崎市役所、西部出張所、東部出張所、市民窓口ステーション、 地域福祉会館、中央支所、佐貫西口支所

5. 善意銀行運営事業 【自主事業】

善意に基づき寄せられた金品の預託・配分を通して、本市における社会福祉活動の振興を図った。

<実績・効果等>

高等学校入学準備金の支給

生活困窮世帯の支援を目的とし、龍ヶ崎市の学習支援事業を利用する方を対象に高等学校への進学のための準備金として祝金を支給した（1世帯1万円）。

支給件数 15件

NPO法人フードバンク茨城への支援

緊急かつ一時的に食品の提供が必要な方への支援を行う上で連携している、NPO法人フードバンク茨城に賛助団体加入費相当額（1万円）を寄付した。

三世代交流を実施する市内小学校に支援金を支給

少子高齢化が進む中で、三世代交流等、地域交流を実施している市内小学校（1校）に対し支援金（5千円）を支給した。

地域福祉推進事業

1. 生活支援事業 【自主事業】

(1) 災害見舞金事業

龍ヶ崎市、日本赤十字社龍ヶ崎市地区との連携により、火災等の災害にあった世帯に対する見舞金を支給した。

<実績・効果等>

見舞金支給額	半壊・半焼	10,000円	全壊・全焼	20,000円
支給件数	火災（半焼）	0件		
	（全焼）	1件		

(2) 交通遺児支援事業

交通事故により親を亡くした遺児の小学校、中学校卒業に際し、茨城県社会福祉協議会との連携により支度金を支給した。

<実績・効果等>

支度金支給額	80,000円	（県社協から70,000円・市社協から10,000円）
支給件数	1件	

(3) 福祉機器、福祉車両貸出事業

一時的に車椅子や介護機器が必要となった市民の方に対し、無料で短期間の貸出を行うことにより、地域生活や在宅介護を支援した。また、車椅子使用者が通院等の移動に際し、車椅子に乗ったまま搭乗できるリフト車両の貸出により在宅介護を支援した。

<実績・効果等>

車椅子	86件
福祉機器（シャワーチェア、4点支持杖、歩行器など）	11件
車いす用福祉車両	18件

2. 生活福祉資金貸付事業 【県社協委託事業】

所得の低い方、障がいのある方等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図った。なお、実施主体である茨城県社会福祉協議会から事務委託を受け、本市における貸付申込世帯の相談や進達を実施した。

<実績・効果等>

全相談件数	2,922件	全貸付件数	1,490件
食料提供件数	59件		

(1) 特例貸付

新型コロナウイルス感染症に起因する休業・失業等により、収入の減少のあった世帯に対し、当面の生計を維持するための生活費用の貸付に関する相談に応じた（緊急小口資金、総合支援資金）。

<実績・効果等>

相談件数	2,866件		
貸付件数	695件（緊急小口資金）		
	791件（総合支援資金）※延長・再貸付含む		

(2) 総合支援資金

離職した方等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援（就労支援、家計指導等）や生活費及び一時的な資金の貸付を必要とし、自立が見込まれる世帯の相談に応じた（生活支援費、住宅住居費、一時生活再建費）。

<実績・効果等>

生活支援費	相談件数	8件	貸付件数	2件
住宅入居費	相談件数	2件	貸付件数	0件
一時生活再建費	相談件数	1件	貸付件数	1件

(3) 福祉資金

所得の低い世帯、障がいのある方のいる世帯又は高齢者世帯に対し、日常生活を送る上で、又は自立生活を資するために、一時的に必要であると見込まれる費用の貸付に関する相談に応じた（福祉費）。

また、緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に費用の貸付けを行った（緊急小口資金）。

<実績・効果等>

福祉費	相談件数	2件	貸付件数	1件
緊急小口資金	相談件数	5件	貸付件数	0件

(4) 教育支援資金

所得の低い方に対し、就学のための資金（教育支援費）や準備資金（就学支度費）の貸付に関する相談に応じた。

<実績・効果等>

教育支援費	相談件数	0件	貸付件数	0件
就学支度費	相談件数	1件	貸付件数	0件

(5) 不動産担保型生活資金・要保護世帯向け不動産担保型生活資金

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、当該不動産を担保とし生活費の貸付に関する相談に応じた。

<実績・効果等>

不動産担保型生活資金	相談件数	0件	貸付件数	0件
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	相談件数	0件	貸付件数	0件

3. 臨時特例つなぎ資金貸付事業 【県社協委託事業】

離職者を支援するための公的給付制度又は公的貸付制度を申請している住居のない方に対して、当該給付金又は貸付金の交付を受けるまでの生活費の貸付に関する相談に応じた。

<実績・効果等>

全相談件数	1件
貸付件数	0件

4. 緊急小口貸付金事業 【自主事業】

昨今の厳しい社会情勢を背景とした雇用環境の悪化や高齢化社会の進展等による被保護者が急増しているため、生活保護費の支給事務が完了されるまでの間において、緊急一時的な小口資金の貸付を行った。（貸付限度額 1世帯につき20,000円まで）

<実績・効果等>

貸付件数	29件
貸付総額	560,000円

5. 日常生活自立支援事業 【県社協委託事業】

認知症高齢者、知的障がいのある方、精神障がいのある方等、判断能力が不十分で、親族等の援助が得られない方に対し、福祉サービス利用手続、日常生活の金銭管理や書類等の預かりサービス等を行い、自立した地域生活を送れるよう日常生活を支援した。

<実績・効果等>

利用契約者	19人（3月末日現在）	※新規契約2人、解約3人	
内訳	認知症高齢者	5人、精神障がい者	8人
	知的障がい者	4人、高次脳機能障害	2人
支援内容	金銭管理（銀行での預金引き出し）、書類預かり（通帳）他		
実施日	各利用者につき、月1回程度		

6. 障がい者地域生活支援事業 【市補助事業】

障がいのある方の地域における生活を支えるため、当市の実情に合わせた各種サービスを実施した。

(1) スポーツレクリエーション事業

身体、知的に障がいのある方々の社会参加促進を目的として、例年、茨城県障害者スポーツ大会への参加支援を行っていたところで、今年も5月に競技会（個人・団体）、9月にレクリエーション競技が開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。

(2) 点字・声の広報等事業

視覚に障がいのある方に対し、福祉技術ボランティアによる広報物等の点訳用紙や音訳CDを盲人用郵便物としてお届けすることで日常生活を支援した。

<実績・効果等>

- | | | |
|-----|-----|-----------------|
| ・点訳 | 実施 | 竜ヶ崎市点訳友の会 |
| | 内容 | りゅうほ一、時刻表、カレンダー |
| | 対象者 | 5人 |
| ・音訳 | 実施 | 龍ヶ崎朗読の会 |
| | 内容 | りゅうほ一、しゃきょうだより等 |
| | 対象者 | 13人 |

(3) 要約筆記入門講座

聴覚に障がいのある方に対する理解の促進と、地域におけるボランティアの普及を目的として開催した。

<実績・効果等>

- | | |
|------|----------------------------------|
| 実施回数 | 5回 |
| | (令和2年11月4日から令和2年12月2日の間の毎週水曜日実施) |
| 受講者数 | 13人 |

共同募金配分金事業 【自主事業】

1. 老人福祉活動事業

(1) シルバーカー購入助成事業

シルバーカーを購入した方に対し助成金を交付することにより、高齢者の日常生活の便宜を図るとともに健康及び福祉の増進に寄与することを目的とする。

対象 市内在住の65歳以上の高齢者

助成額 購入金額の2分の1（助成限度額5千円）

<実績・効果等>

- | | |
|------|----------|
| 助成件数 | 93件 |
| 助成金額 | 463,600円 |

(2) ふれ愛会食会事業

給食サービス利用者の外出への意欲向上と引きこもり防止を目的として、ボランティア、小学校児童との交流ができる会食会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。替わって、訪問により児童からの手紙を手渡し、交流を図った。

<実績・効果等>

実施日	2月4日(木)、10日(水)、18日(木)、25日(木)
延訪問人数	137件

2. 障がい児・者福祉活動事業

(1) ふれ愛キャンプ(ボランティア連絡協議会との協働事業)

障がいのある人もない人もすべて平等という立場で、協働の一泊二日のキャンプを通してお互いにふれあい、理解を深めることを目的に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

(2) ふれ愛広場(ボランティア連絡協議会との協働事業)

市民の交流を通して障がいのある人とない人の相互理解とボランティア活動の普及啓発を図るため、ボランティア団体の手作りによる文化と福祉を融合させた福祉まつりの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

3. 児童・青少年福祉活動事業

チャイルドシート等購入助成事業

子育て支援の一環として、乗車中の幼児の安全確保及び経済的負担の軽減を図ることを目的とし、チャイルドシートを購入した世帯に対し、費用の一部を助成金として交付した。

対象 市内在住の2人以上の幼児の保護者

要件 第2子目以降の幼児が使用するために購入した場合(1世帯につき1台のみ)

助成額 購入金額の2分の1(助成限度額5千円)

<実績・効果等>

助成件数	36件
助成金額	155,900円

4. 福祉育成・援助活動事業

しゃきょうだより発行

当会の運営状況やボランティア活動、共同募金に関する依頼・報告等について広報活動を行うことで、当会の活動に対する理解と協力、ボランティア活動に対する参加促進を図った。また、地域活動の状況も積極的に掲載し、地域福祉の推進を図った。

<実績・効果等>

発行	全戸配布版 4回(6月・9月・1月・3月)※32,000部
内容	地域活動報告、事業案内(利用案内)、ボランティアサークル紹介、ふれ愛レシピ等

5. ボランティア活動育成事業

福祉団体やボランティア団体を助成することにより、地域における市民活動の振興を図った。

<実績・効果等>

市ボランティア連絡協議会を助成することで活動の振興を図った。

6. 歳末たすけあい事業

(1) ふれ愛クリスマス（ボランティア連絡協議会との協働事業）

障がいのある人もない人もすべて平等という立場で、レクリエーション等を通してお互いにふれあい、理解を深めることを目的に開催した。

<実績・効果等>

開催日	令和2年12月13日（日）	
場所	龍ヶ崎市総合福祉センター	
内容	レクリエーション等	
参加者数	障がい児	7人
	健常児	8人
	ジュニアボランティア	8人
	高校生ボランティア	10人
	ボランティア	41人（16団体）

(2) 歳末ふれ愛訪問事業

ひとり暮らしの高齢者への支援として、ボランティアが新年を迎えるにあたり伝統的なお節料理を調理し宅配するとともに、年末の見守り活動を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により、職員がお節料理（加工品）を宅配し、見守り活動を行った。

<実績・効果等>

開催日	令和2年12月22日（火）、12月23日（水）、12月24日（木）、 12月25日（金）
宅配件数	152人

(3) 歳末地域たすけあい助成事業

共同募金事業の一環である「歳末たすけあい募金」を原資として、年末年始における市民の自主的なたすけあい・ささえあいの活動に対し助成し、やさしさ溢れるふれあいのまちづくりを推進した。

<実績・効果等>

助成件数	2件
助成金額	60,000円

いきがい交流事業 【自主事業】

1. 高齢者スポーツ大会（ボランティア連絡協議会協力事業）

ふるさとふれあい公園を会場とし、「いばらきねりんスポーツ大会」の予選会を兼ねたスポーツ大会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

なお、10月から11月にかけて、社会福祉協議会会長杯を開催した。

<実績・効果等>

名称 第9回龍ヶ崎市社会福祉協議会会長杯

会場 ふるさとふれあい公園

競技種目・開催日

- ・ゲートボール大会 10月15日(木)(出場者 31人)
- ・輪投げ大会 10月22日(木)(出場者 161人)
- ・グラウンドゴルフ大会 10月29日(木)(出場者 120人)
- ・ペタンク大会 11月5日(木)(出場者 123人)

2. 花見会・芋煮会

施設利用者の交流を目的として4月・12月に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

3. 親子創作教室(陶芸・絵画)

ふるさとふれあい公園アトリエで活動する、絵画クラブ・陶芸クラブの協力により、就学児童の家庭を対象とした親子参加型事業の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

4. 季節交流会

ふるさとふれあい公園アトリエで活動する、クラブや長寿会連合会の協力により、施設利用者の交流を目的として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

在宅福祉サービス事業 【市補助事業】

高齢や障がいのため日常生活を送る上で支障がある方に対する支援を目的とし、会員制(利用会員、協力会員)による家事援助等の有償在宅福祉サービスを実施した。

サービス時間 月曜日～土曜日(日曜日、祝日、年末年始は休業)

午前9時～午後5時(1回2時間以内で週12時間を限度)

主なサービス 食事の支度、衣類の洗濯・補修、居室の掃除、整理等

利用料 1時間あたり650円

<実績・効果等>

登録人数

利用会員 9人 協力会員 8人

活動状況

延訪問回数 97回 延時間数 98時間

地域ケアシステム推進事業 【市委託事業】

保健・医療・福祉の関係者の連携に基づき、高齢者や障がいのある方等が総合的かつ効果的に各種福祉サービスを受けられるよう必要な援助を行い、要援護者が住み慣れた家庭や地域の中で安心して暮らせるよう支援した。

<実績・効果等>

会 議

- ・ケース検討会議（クイック会議） 6回
- ・在宅ケアチーム数 8チーム（3月末現在）
- ・ケース訪問回数 延べ 71回
- ・相談件数 延べ 165件

各種協議会への参加

- ・障がい者自立支援協議会への参加（地域居住支援部会に所属）
- ・在宅医療・介護連携推進会議への参加（連携推進部会と地域ケア部会に所属）

※また、例年、障がい者理解を目的としたボランティア基礎講座を開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

元気サロン松葉館運営事業 【市委託事業】

高齢者の生きがいつくりや健康づくりなどを目的とした各種事業を実施するサロンを運営した。

<実績・効果等>

開設日 179日

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により休館

令和2年4月1日（水）～6月7日（日）

令和3年1月19日（火）～2月14日（日）

※臨時休館 令和2年8月3日（月）電気設備点検

令和2年8月11日（月）受水槽清掃

利用者 324人（延6, 541人 / 1日平均 36.5人）

- ・はつらつサロン（太極拳、書道、俳句、詩吟、歌、手芸、絵手紙、折り紙、囲碁、いきいきヘルス体操、元気アップ体操、ラージボール卓球、健康麻将、ドミノゲーム、思い出を語ろうかい）

延参加人数 6,008人

- ・利用者説明会を実施

新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本指針等の説明を行った（12人参加）。

敬老会事業 【市補助事業】

長年、地域の発展に寄与された高齢の市民に対し、感謝の意をもってその長寿をお祝いするとともに、敬老思想と高齢者福祉の意識高揚を図った。

なお、龍ヶ崎市文化会館において9月22日に式典の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。

<実績・効果等>

- ・敬老祝金の支給
- ・記念品の配布 対象者 10,614人

総合福祉センター運営事業 【指定管理事業】

龍ヶ崎市より指定を受け、指定管理者として龍ヶ崎市総合福祉センターの管理及び運営を行い、高齢者の自立的生活の援助、機能の向上を図ることを目的に各種福祉事業を実施した。

(1) 高齢者福祉センター事業

高齢者に対して健康増進・介護予防、教養・趣味活動、レクリエーション等に関することを総合的に供与し、高齢者が健康で明るい生活を送り、生きがいを高めることができるよう各種事業を実施した。

施設・設備 大浴場、集会室、教養娯楽室、多目的室、ロビー
事業 相談事業・介護予防事業、趣味教養活動等

<実績・効果等>

開館日数 308日

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、
令和2年3月6日から6月6日まで、令和3年1月19日から2月6日まで
全ての個人・団体利用を休止（窓口業務のみ）

センター延利用者数 16,329人
(個人 11,012人 / 団体 5,317人)
※1日平均53人

60歳未満市内居住者 28人
60歳以上市内居住者 10,984人
60歳以上市外居住者 0人 ※利用制限（市内の方のみ）

【クラブ活動利用者数】

舞踊	127人	囲碁	486人
卓球	25人	フォークダンス	138人
民謡	90人	手芸	23人
健康マージャン	917人	俳句	74人

【団体活動利用者数】

利用者数 3,190人

【いきいきヘルス体操】

延参加者数 247人

(2) 長寿会事業

高齢者が仲間づくりをしながら各種活動を通して地域に貢献し、生きがいを高めることを目的として実施を予定していた事業・活動は、新型コロナウイルス感染拡大により中止した。
(長寿大学、野外学習、単位長寿会会長、女性会員交流会、健康マージャン交流大会、カラオケ交流会、奉仕作業、高齢者作品展、役員・会員研修)

<実績・効果等>

【本部】

理事会 9回開催
奉仕作業 (開催中止)
単位長寿会会長会議 (開催中止)
女性会員交流会 (開催中止)

【文化部会】

会議 3回開催
「あなたの川柳」募集 180作品応募
長寿大学 (開催中止)
健康マージャン交流大会 (開催中止)
カラオケ交流会 (開催中止)

【体育部会】

会議 4回開催
高齢者スポーツ大会
・輪投げ大会 5月21日(木) (開催中止)
10月22日(木) (出場者 161人)
・ゲートボール大会 10月15日(木) (出場者 31人)
・グラウンドゴルフ大会 6月4日(木) (開催中止)
10月29日(木) (出場者 120人)
・ペタンク大会 6月11日(木) (開催中止)
11月5日(木) (出場者 123人)

【高齢者スポーツルール研修会】

(開催中止)

【いばらきねんりんスポーツ大会】

(開催中止)

【顕彰】

第59回茨城県老人クラブ大会 (開催中止) 被顕彰者 2人

地域福祉会館管理事業 【市補助事業】

龍ヶ崎市地域福祉会館の維持管理を行い、福祉活動の拠点施設としての有効な運営を図った。

<実績・効果等>

龍ヶ崎市より受託し、施設・設備の維持管理及び貸出管理を行ったところ、会議や研修会、また各種福祉事業の会場として活用された。

施設 相談室、ボランティアセンター、会議室、調理室、録音室

佐貫西口支所運営事業 【市補助事業】

新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底し、地域住民が集い健康づくり、仲間づくり、生きがいに活用できる佐貫西口支所を運営した。

また、多くの方々に利用していただけるような事業の企画・実施や効果的なPRにより利用促進を図った。

<実績・効果等>

支 所	開設日数	284日
	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年5月2日から6月6日までの土曜日、令和3年1月23日から2月6日までの土曜日は休館	
	延利用者数	1,142人
	(受付・案内 630件 / 福祉・生活相談 48件 / ボランティア相談 10件 / 車椅子貸出 5件 / ふれ愛ネット 12件 / 社協会費・共募 19件 / その他 418件)	
	商品販売	792件
談話室	開設日数	221日
	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年3月10日から6月7日、令和3年1月19日から2月7日まで利用を休止	
	延利用者数	808人
	(個人利用689人 / 青少年利用40人 / 団体利用79人)	
多目的室	開設日数	215日
	※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年2月29日から6月14日、令和3年1月19日から2月7日まで利用を休止	
	延利用者数	2,070人
	延利用団体	135団体
	・将棋・囲碁 (毎週火曜日) ・いきいきヘルス体操 (毎週水曜日)	
	・健康マーじゃん (毎週木曜日)	
	・住民自治組織 2団体 ・長寿会 1団体 ・民生委員 1団体	
	・地域団体 4団体 ・趣味活動団体 10団体	

障害福祉サービス事業 【市補助事業】

1. 障害福祉サービス事業所ひまわり園

障害者総合支援法の規定に基づき、茨城県知事の指定を受けた障害福祉サービス事業所の運営を行った。

<実績・効果等>

在宅の知的に障がいのある方の利用事業所として、個々の能力、特性に応じ、その可能性を十分に伸張することで家庭や地域生活の自立を支援した。

開設日数	243日			
延利用者数(合計)	9,241人			
【生活介護】	利用契約者数	33人	延利用者数	6,425人
【自立訓練(生活訓練)】	利用契約者数	0人	延利用者数	0人
【就労移行支援】	利用契約者数	1人	延利用者数	17人
【就労継続支援B型】	利用契約者数	12人	延利用者数	2,799人
【共通サービス】	入浴サービス	586人	送迎サービス	16,269人
	給食サービス	8,888人		
【日中一時支援事業】	開設日数	293日		
	延利用者数	1,082人		
		(身体障がい者45人・知的障がい者1,037人)		

2. 障害福祉サービス事業所あざみ

障害者総合支援法の規定に基づき、茨城県知事の指定を受けた障害福祉サービス事業所の運営を行った。

<実績・効果等>

在宅の身体に障がいのある方の利用事業所として、身体機能・生活能力の維持向上の訓練や日常生活の相談支援を行った。

開設日数	243日			
延利用者数(合計)	2,115人			
【生活介護】	利用契約者数	13人	延利用者数	2,115人
【共通サービス】	送迎サービス	3,972人	給食サービス	2,021人
	スポーツレク	1,181人	健康指導	700人
	創作的活動	1,088人	口腔ケア支援	114人
	社会適応訓練	518人		

3. 指定特定相談支援事業

障害者総合支援法の規定に基づくサービス利用計画に関する相談及び作成、また、障がい児・者の抱える課題の解決、適切なサービス利用のためのケアマネジメント等、きめ細かな対応により障がい児・者の自立生活を支援した。

<実績・効果等>

現契約者数(合計) 124人

(身体障がい者 42人・知的障がい者73人・精神障がい者3人・障がい児6人)

【サービス利用支援】

障害福祉サービス等を申請した障がい児・者について、その心身の状況、置かれている環境等を勘案し、サービス等利用計画案を作成した。また、支給決定後においては、当該決定の内容を反映したサービス等利用計画書を作成した。

サービス計画案作成件数 47件

【継続サービス利用支援】

サービス等利用計画が適切であるかどうかを一定期間ごとに検証し、その結果を勘案し利用計画の見直しと変更を行った。

モニタリング報告書作成件数 268件

ふるさとふれあい公園運営事業 【指定管理事業】

龍ヶ崎市より指定管理者として指定を受け、龍ヶ崎市ふるさとふれあい公園の管理運営を行った。また、市民が自然の中で創作活動やスポーツを楽しむ憩いの場として、利便性の向上に努めた。

施設 アトリエ和室工作室及び窯室、ゲートボール場、多目的グラウンド、
ディスクゴルフ場、グラウンドゴルフ場、野外ステージ等

<実績・効果等>

開設日数 305日

延利用者数 28,489人

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、

令和2年3月 7日から6月 7日まで アトリエ棟を休館

令和2年3月10日から6月 7日まで 屋外運動施設の利用を一部制限

令和3年1月19日から2月 7日まで 全ての個人・団体利用を休止（窓口業務のみ）

令和3年2月 9日から3月21日まで 屋外運動施設の利用を一部制限

(内訳)

○アトリエ 1,896人

・クラブ活動 1,729人

陶芸クラブ 1,517人 / 絵画クラブ 9人

切絵クラブ 41人 / パッチワーク 162人

・工作室 146人

・和室 21人

○ゲートボール場 2,689人

○多目的グラウンド 4,916人

○ディスクゴルフ場 4,906人

○野外ステージ 10,398人

○グラウンドゴルフ場 3,557人

○バーベキューエリア 127人 (令和2年7月1日から)

障がい者自立化支援事業 【自主事業】

障がいのある方にとって、販売経験を重ね市民との交流を深める機会を得ることは有意義な社会的活動である。当該活動が障がい者福祉に対する啓発活動の一助となることを期待し、各事業を実施した。

1. 福祉の店ひまわり

龍ヶ崎市森林公園内に設置した「福祉の店ひまわり」にて販売実習を実施した。

<実績・効果等>

営業日 105日間
火～日曜日営業（月曜定休日）※7/18（土）～8/31（月）毎日営業
※新型コロナウイルス感染拡大による休業期間 4/1～6/14
実習生 4人
ボランティア支援協力：送迎

2. Cafe たつこのこ

龍ヶ崎市総合体育館（たつこのこアリーナ）内に設置した「Cafe たつこのこ」において、喫茶コーナー及び物販コーナーの運営により販売実習の場を提供した。

<実績・効果等>

営業日 236日間
火～日曜日営業（月曜定休日）※7/23（木）～8/31（月）毎日営業
※新型コロナウイルス感染拡大による休業期間 4/1～6/8・1/21～2/8
実習生 2人
ボランティア支援協力：日中サポート

3. 福祉の店りゅう

中央支所に併設した「福祉の店りゅう」の運営により販売実習の場を提供した。

<実績・効果等>

営業日 284日間
実習生 5人
ボランティア支援協力：日中サポート

・福祉の店移動販売

各地域を拠点とし、地元農作物や米、食料品等をステーション方式により販売した。

<実績・効果等>

実施日 113日間
実習生 7人
販売拠点 各コミュニティセンター、長寿会スポーツ大会

4. 福祉の名刺屋さん

名刺を市内の公共機関、民間事業所、個人等から受注し、専門機材を用いて作成、販売した。

<実績・効果等>

実施日 毎週水曜日（作成作業）
実習生 3人
受注件数 231ケース

